



ハート・プラス通信

～内部障害者・内臓疾患者の暮らしについて考える～

2016年11月20日 No.37 <秋号>

【配信元】NPO 法人 ハート・プラスの会
 【連絡先】事務局 E-mail: info@heartplus.org FAX 052-718-1581
 【ホームページ】<http://www.normanet.ne.jp/~h-plus/>

通常総会の報告

平成28年10月30日



【出席者の記念撮影】

第9回通常総会を平成28年10月30日にさいたま市大宮区桜木町の大宮ソニックシティビル会議室にて開催しました。当日は天候に恵まれ爽やかな秋晴れの中の開催となりました。地元埼玉や東京、神奈川、千葉、富山、福岡、愛知、京都、奈良、大阪から参加頂き、総勢15名（賛助会員様1名含む）の出席がありました。

議事概要

当日ご出席して頂けなかった会員の皆様には、はがきでの意思表示をいただきまして、ありがとうございました。みなさまのご協力とご理解のもと、総会も無事に終了しましたので、結果等の報告をします。

司会は徳永理事、議長は鈴木代表理事のもと平成28年10月30日現在正会員数97名中委任状数49通、当日出席14名で定刻午後1時30分から始まりました（議事録署名人…加藤理事、徳永理事）。尚、賛助会員様1名も出席をして頂きました。

鈴木代表理事より、挨拶がありました（別枠で掲載しています）。続いて議長の鈴木代表理事による議事進行で議事を進めました。議案は4議案、内容については各担当より説明がありました。

第一号議案 事業報告
 第二号議案 事業計画
 第三号議案 役員選任
 第四号議案 定款変更
 全ての議案は、出席者総員の賛成で承認可決しました。

正会員総数：97名			審議事項							
項目			1号議案		2号議案		3号議案		4号議案	
出席者内訳	当日出席	14	賛成	14	賛成	14	賛成	14	賛成	14
			反対	0	反対	0	反対	0	反対	0
	代理人出席 (委任状)	19	賛成	19	賛成	19	賛成	19	賛成	19
			反対	0	反対	0	反対	0	反対	0
	書面表決	30	賛成	30	賛成	30	賛成	30	賛成	30
			反対	0	反対	0	反対	0	反対	0
出席正会員 合計	63	賛成	63	賛成	63	賛成	63	賛成	63	
		反対	0	反対	0	反対	0	反対	0	
			賛成	0	賛成	0	賛成	0	賛成	0
			反対	0	反対	0	反対	0	反対	0
			棄権	0	棄権	0	棄権	0	棄権	0

※出席者の半数以上で総会成立
 ※第1号から第3号までは、出席者の1/2以上で議案成立
 ※第4号は、出席者の2/3以上で議案成立

〔一号議案〕

「事業実施の概略」は、鈴木代表理事から報告があり、「事業の実施に関する事項」につきまして、主に担当された方から報告があり、取り組みをされた状況が良く分かりました。

続いて、「活動計算書」等は、加藤理事から説明がありました。

監査報告として、「適法かつ正確であることを認めます」との報告が、吉野監事よりありました。

意見一…通信運搬費用は、何に使われていますか。

回答一…主に総会の為の費用となります。

等の意見があり採決の結果、承認されました。



【鈴木代表理事の挨拶】

〔二号議案〕

「次年度事業計画」について、鈴木代表理事から提案がありました。

主な内容として、

ア・ハート・プラスマークのカードは、出来れば柔軟な対応をしたい。

イ・交流会は、関東や西日本で開催したい。

ウ・ハート・プラス通信につきましては、年四回の発行行を目指して、取り組んでいきます。皆様の投稿をお持ちしています。

エ・情報発信の手段として、更にホームページを良くしたいので、意見等をください。

オ・理事会は、今期一度集まつて実施をしました。

意見一…会の発行物である、ハート・プラス通信は、継続が必要と思うので続けて欲しい。

回答一…了解しました。ホームページにも載せていきますので、こちらもご覧ください。

続いて、「収支予算書」の



【総会風景】

提案は、加藤理事からありました。

主な内容として、

ア・会員を続けて頂ける方が多くなつて収入が安定してきています。ありがたいことです。

イ・大同生命社会貢献の会様から頂いた寄付金は、バスステッカー等の印刷物に利用する予定です。

ウ・賛助会員のメディアカルエイド様には、ご協力に感謝をしています。

意見一…ハート・プラスマークを記憶に残すような、利用方法が必要と思う。

回答一…貴重な意見ありがとうございます。

ございます。今後検討したいと思います。

等の意見があり採決の結果、承認されました。

〔三号議案〕

「役員選任」について、鈴木代表理事から提案がありました。

設立当初から会を牽引してこられた、四名の方には休息をとつて頂く事として、新たに二名選任して、理事五名と監事一名体制で、取り組んで行きたいと思えます。

との説明があり採決の結果、承認されました。

〔四号議案〕

「定款変更」について、加藤理事から提案がありました。

主な内容として、ア・寝屋川市の事務所を借りられる目途が付きましたので、会の事務局を変更したいと考えています。

意見一…何故、変更するのですか。

回答一…現在、事務局長が一人で

対応をしているが、複数のメンバーで対応が出来るようにする為です。

意見二…住所や電話番号は、いつ公表するのか。

回答二…移転先で承認され、登録が完了次第、ホームページに掲載します。

意見三…賃貸料は、どの様にするのか。

回答三…賛助会費を充てる予定です。

等の意見があり採決の結果、承認されました。

当日、出席して頂いた会員の方に感想等を書いて頂きましたので、後方に掲載します。
ご協力ありがとうございました。



【出席者が持参した郷土土産】



「初めて総会に

参加して」

〔千葉 園部さん〕

ハート・プラスの会10期目、おめでとございます。

人工透析を受けているので、土曜日に開催されるものには参加できずにいました。今回、埼玉ということ、日曜日だったことで、初めて総会に参加いたしました。

皆様のお話をお聞きして、会への思い、ハートプラスマークへの思いを改めて感じる事ができました。特に、このハートプラス通信に関しまして、通っている病院患者会の広報として情報を発信し、少しでも交流の場にできたらと思っている立場から、その発行への情熱と責任感に感銘を受け、会の中における会報の重要性を再認識させていただき、とても貴重なよい時間をいただけたと感謝しています。

緊張がかたまってしまったが、機会がありましたら、また参加させていただきます。

代表理事就任のご挨拶

〔代表理事 鈴木〕

平成27年度通常総会に際しましてご挨拶させていただきます。

この一年間は、当会として特に大きな活動はありませんでしたが、例年通り会内外からの数々の案件や要望等に対応してきました。

特に多かったのは「ヘルプマーク」に関連するマスメディアによる取材ではなかったかと思えます。これには、本年四月より施行された障害者差別解消法にある「合理的配慮」について行政機関が行う障害者への配慮の一環として、ヘルプマークがクローズアップされたからではないかと考えています。

ヘルプマークは、四年前に東京都が作ったものです。東京都のホームページによりますと、ヘルプマークとは「義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくするよう、作成したマークです」と書かれています。このマークは、

今年四月から京都府でも使われるようになり、その他、青森県、和歌山県、徳島県などでも採用されています。この流れは今後とも広がりを見せることになると思っています。

恐らく、マスメディアにとつては、このマークはどの程度普及し実際にその機能を果たしているのかというのが興味のあるところなのでしょう。この取材をする中で、当会のハート・プラスマークが「類似」のものとしてヒットしたので取材させて頂きたいというのが当会への最初の要望でした。

さらに、このハート・プラスマークを世に出した頃に、その普及に尽力をしていただいたある県議会議員さんから次のようなお話しがありました。「最初にハート・プラスマークの普及に取り組んだものの、ヘルプマークも普及させてほしいという県民の方からの要望にも応えて県の取り組みとして実現させた。正直なところ複雑で心苦しい想いをしている。会として、ハート・プラスマークと





ヘルプマークの違いを明確にしてもらえないだろうか」さらに、恐らく多くの地方議員が同じような想いなのではないかと言われていました。

ハート・プラスマークができてしばらくは、同様のマークはありませんでしたので、このマークの普及こそが、見た目にわかってもらえない多くの内部障害者の生活を少しでも助けることができないのと信じて取り組んできたわけですが、ヘルプマークだけではなく他にも同様のマークが出てきて、それをマスメディアに取り上げられることによって、統一したマークができないのかという意見が出てきています。ただこれについて、内閣府ではそういう動きはないようです。

このようなことから、当会としてはハート・プラスマークと他のマークとの違いを説明できるようにしなければならぬという必要性を感じています。

会としての正式な見解は今後検討し、明文化しなければならぬと考えていますが、私個人としての意見を整理してみましたのでこの場でお伝えしたいと思います。

そもそも、ハート・プラスマークができたのは、身体障害者でありながら、見た目にそうは見えないということだけで、周囲の人からの理解や配慮を得られないばかりか、誤解され悪者と見なされてしまう経験をもった当事者達が、社会に対して、もっと内部障害者というものを知ってもらい、どのような困難があるかを理解してほしいという切実な想いから誕生したものです。また、可視的にわかりやすい障害の方々とは比べて置き去りにされてしまっている福祉面での対応の向上を国や行政に訴えていくための言わば旗頭としてのマークであるわけです。ですから、当マークには、しっかりとした意図があり意味があります。つまり、単に席を譲って下さいマークではないのです。



【総会で展示した
会員手作りのグッズ】

一方、ヘルプマークは冒頭の説明にもあるように配慮を求めるだけのものであり、その意思表示をしたいという方なら誰でも使ってもよく、受け手にとっても、単に助けてあげればいいというたいへんシンプルな運用となっています。

このことは、所謂車椅子マーク（国際シンボルマーク）を車にさえ貼っておけば、障害者用の駐車場に車を止めても文句は言われぬという発想に似ているように思えます。今や、車椅子マークのステッカーは誰でも購入できます。同じく、ヘルプマークも誰でももらえるようになっていきます。これではなりませんして優先座席に座る健常者も出てくる可能性が十分考えられます。

ハート・プラスマークもホームページから誰でもダウンロードできるのです、同じだと言われれば議論はできませんが。

但し、あくまで内部障害者や内臓疾患者自身しか使えませんという姿勢は堅持しています。



当会としては、当マークの意味を変えることはありません。変えてしまえば、この会の存続を否定することになります。

しかし、私たちにも反省すべきことがあると思っています。マークの普及が先行し、その意味も併せてアピールできたかと言うと、やはりその部分は少し弱い点があったのではないかと思います。

ですから、今後の方向性としては、このマークに込められた意味をしっかりと訴えていくとともに、広く社会に理解を広げるためのより具体的な方策を考えながら実行していくことが、違いを明確にしていくことに繋がるのではないかと考えています。

今後とも、会員をはじめ支援して下さる皆様の、より一層のご支援を宜しくお願い致します。



【鈴木代表理事】

ご協力を
お願い申し上げます。

新任理事就任のご挨拶

〔理事 岩井〕

このたび、理事に選出されました岩井伸文です。

鈴木代表の元、「ハート・プラスの会」を支えていきたいと考えています。

私は、内部障害の人工膀胱を持つオストメイトです（オストメイトとは、人工肛門・人工膀胱を持つている人の事です）。

この「オストメイト」の言葉が世間ではあまり認知されていないのと同様に、「内部障害者」と言う言葉も認知されていません。

「内部障害者」と云う言葉と「ハート・プラスマーク」を広く世間に知って頂く活動と共に、内部障害者および内臓疾患者の暮らしを向上させ、福祉の増進に寄与することを目的として、これまで通り、皆様と力を合わせて努力を致します。何よりも「思いやりの心」を大切にしています。

微力ではございますが、ご指導・ご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



〔理事 平野〕

このたび、理事に選任して頂きました、平野嘉男です。

現在、ハート・プラス通信の編集を担当しております。今後も後方支援として、充実した紙面作り

に努力をして行きたいと思っております。皆様の「思い」や「ご意見」、「取り組み」を通信に掲載していきたいと思っております。ご理解を頂いて、連絡を頂ければ幸いです。

これからも努力をして行きますので、ご協力をお願いします。

運営委員を

仰せ付かって

〔運営委員 石川〕

この度、運営委員として名誉ある役目を仰せつきました石川康美です。

突然の心室細動におそわれ心臓機能障害となりICDを植え込みました。神奈川県横浜市在住ですが県政・市政などの行政にはかなり疎く、今更ながらではありませんが、徐々にしくみなどを見極めていきたいと思えます。

又、この会の取り組みの主題で



〔石川さんが作成した横断幕〕

ある六項目は、健常では気に留めていなかった要件ばかりで聴覚障害者のお付き合いは有るので、障害者に対し理解はしていましたが、内部障害という障種の違いで理解の方向性の違いを知りました。

微力な自分の希望ですが、これを理解してもらおうべき行政、各事業所、関係各所の担当者の方々に何らかの方法と手段を講じ一般健常者にも内容が伝わり理解を深めていけると良いのかな・・・と思いました。

これまでの先輩方々の多大な努力により、各方面への表記・表示・案件解消など既成事実を知ると、希望と考えが妄想しチョット大きな事を書いてしまいましたが、自分の器の範囲で出来る事から六項目や身近に感じる事など役目に従事していきたいと思えます。

横浜での交流会の案内

テーマ：『ヘルプマークに思う』

日時：2016年12月18日(日) 13時30分～16時30分

会場：横浜市社会福祉センター（横浜市健康福祉総合センター内）
8階 大会議室 8F室

住所：〒231-8482 横浜市中区桜木町 1-1

URL：<http://yokohamashakyo.jp/yvc/>

参加申込：ysm.indeco-kame6324@docomo.ne.jp

参加費：無料

会場の都合上定員20名 非会員の方も参加できます。

※会の方針や他人を中傷する方は、申し訳ございませんが 遠慮願います。

交流会模様

ここからは、鈴木代表理事司会の元 出席者の方が持参されたお菓子を頬張りながら、交流会を始めました。

最初に参加者の皆様からの自己紹介があり、お互いの境遇を共有しました。

出席者からの意見として

ア. 電車等では、車いす等の方と同様に内部障害者にも対応して欲しい。

イ. 駅員さん等は、サポートの仕方が分からないのでは。

ウ. 不安があり自分から言い出しにくいのでは。



【交流会風景】

エ. サポートを依頼した時に、車いすを持って来てくれる時があるが、車いすに乗ると体調が悪くなるので、乗りたくない。

オ. 内部障害者は、何をサポートして欲しいか、理解してもらおうのが先決では。

カ. JR西日本のホームページに教育をしていると思われる内容が載っている。

等、深い意見交換となりましたが、時間の関係で次の内容に移りました。

司会者からの紹介で、賛助会員の松井様から、電磁波に関する取組として「EAE（電磁環境・電磁波防護製品評価協会）活動」への協力依頼の案内がありました。

現在の社会生活の中では、様々な器具等から電磁波が出ており、ペースメーカーやICD等の誤動作を起こす可能性が高く、日常生活や就労等に影響を及ぼしています。

製造メーカーへ電磁波発生機器への評価マーク設置への取り組みと、電磁波防護製品に対する助成金制度の拡大等を各自自治体に請願活動への協力をお願いします。

との要望がありました。

今回の総会は、4つの議案があり、多くの時間を割いたので、時間が足りず残念ながら最後に全員で記念撮影をして解散となりました。

参加された皆さん、お疲れさまでした。



【交流会風景】

【募集】

体験や近況、活動報告など、皆様からの投稿をお待ちしています。連絡は、

事務局又は通信編集担当まで！！

Mail : hirano@heartplus.org

FAX : 052-718-1581



寒い冬が今年もやってきました
暖かくして、お過ごし下さい。